



総合診療科について

副院長 荻澤融司 (にらさわゆうじ)



昨年4月から副院長を拝命し総合診療科を担当しています。武蔵野陽和会病院に赴任し、総合診療科を担当するようになって1年が経ちました。まだまだ不慣れで患者さんにはご迷惑をお掛けしている点多々あるかと思いますが本年度も何卒よろしくお願いたします。

さて、総合診療科ではどんなことをやっているのかよくわからないという方が多いと思います。

病院ホームページの「[総合診療科について](#)」にも書きましたが、自覚症状からは何科を受診すればよいのかわからない患者さん、特定の専門診療科への受診希望がない患者さん、感冒・腹痛・頭痛・倦怠感・怪我など日常多く遭遇する一般的な病気で特定の専門診療科の診療を必要としない患者さんなどが総合診療科を受診していただく患者さんになるかと思っています。



総合診療科は デパートのレストラン街の「お好み食堂」

適切な喩えではないかもしれませんがデパートの「お好み食堂」的な診療科だと思っています。今は少なくなりましたが昔はデパートの食堂といえば「お好み食堂」でした。今風に言えば和食から洋食・中華までそろっているファミレスでしょうか。デパートのレストラン街には和食・お寿司・イタリアン・洋食・鰻・天ぷら・お蕎麦など沢山のそれぞれの料理の専門店がありますが、一方で「お好み食堂」もあり、お好み食堂に行けば和食から洋食まで、ほとんど



すべての料理が用意してあります。それぞれの料理も専門店に負けないお味だと思っています。

総合診療科はデパートのレストラン街の「お好み食堂」です。何科を受診したらよいのかわからなかったら、とりあえず総合診療科を受診して下さい。もちろん総合診療科だけで完結しない場合もありますので、このような場合には総合診療科の全体を視る視点に各専門家の専門知識を合わせて治療をさせていただくことになります。



私の郷里の新潟県の長岡では、具合が悪いことを「なんぎ」といいます。お年寄りが、どこが悪いのかわからないけれど調子が悪いという場合に「なんぎ」と表現します。ご自分ではどこが悪いのかわからなくとも「なんぎ」な場合には、どうぞ総合診療科を受診してください。

